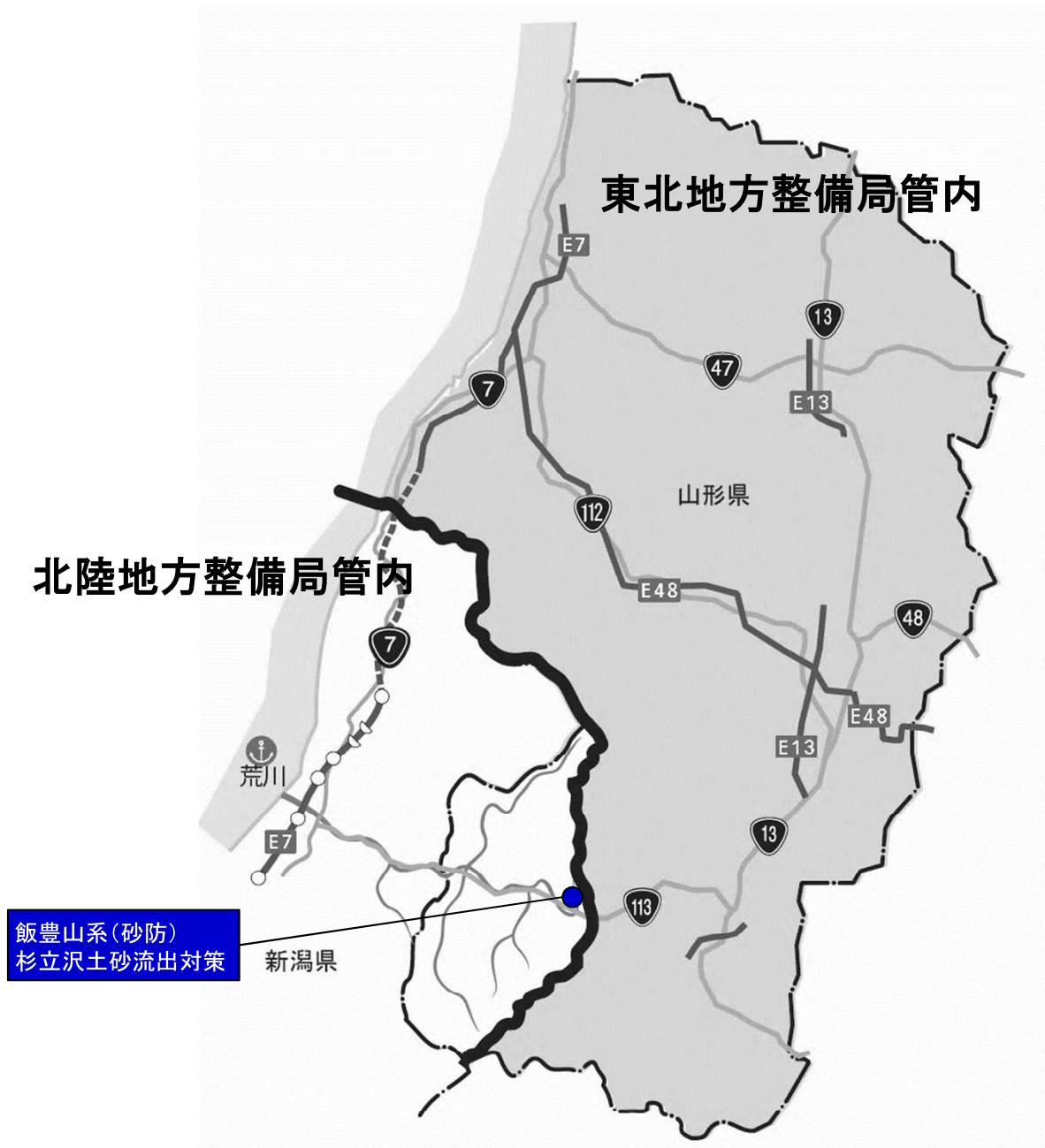


山形県内の主要事業



凡例 治水事業

飯豊山系直轄砂防事業の推進

山形県西置賜郡小国町（杉立沢土砂流出対策）

R3事業費
226百万円

事業の概要

飯豊山系の荒川上流域には、荒廃が著しい溪流や崩壊した斜面が多数存在し、河床内に不安定な土砂や流木が大量に堆積・残存しているため、昨今の気象変動による影響で頻発化している集中豪雨により水害・土砂災害が激甚化する危険性が高い流域です。

この中でも杉立沢では、平成11年に発生した大規模な土砂崩壊によって、河床に不安定な土砂が大量に堆積しているため、これが今後の出水等により流下し、近傍の国道113号やJR米坂線といった地域の重要交通網や下流域の沿川市街地が被災してしまうことが懸念されます。

このため、ハード対策とソフト対策が一体となった治水対策である「流域治水」の一環として、杉立沢土砂流出対策では、新設の砂防堰堤を整備することで、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫を発生させる原因となる得る有害な土砂の流出を抑制します。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、飯豊山系全体の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させることで、保全対象である山形県小国町並びに新潟県内の沿川地域における安全と安心を確保します。

令和3年度の事業内容

沼沢地区において、砂防堰堤工の整備を推進します。

流域状況



位置図



杉立沢砂防堰堤（整備中）



上流の大規模崩壊地（H11～）



不安定土砂が堆積する河床

➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。

<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

福島県内の主要事業



凡例 治水事業

あががわ
阿賀川

ながい
長井地区下流狭窄部対策
ふくしま きたかた
福島県喜多方市

の推進

R3事業費
411百万円※1

※1: 阿賀川河川改修事業のR3全体事業費

事業の概要

阿賀川直轄管理区間の最下流部は川幅が狭い狭窄部のため、洪水時の水位上昇が著しく古くから会津盆地の水害の原因となっており、昭和57年9月、平成14年7月洪水時には内水はん濫及び漏水等の被害が発生しました。そのため、泡の巻地区、津尻地区の狭窄部対策として河道掘削を計画的に実施してきており、現在、ながい長井地区の河道掘削を実施しています。

近年、気候変動に伴い激甚化・頻発化する水害・土砂災害等に対する安全度の向上を図るため、これまでの河川管理者等による対策だけでなく、流域のあらゆる関係者の協働による、ハード・ソフト一体の治水対策である「流域治水」を推進します。阿賀野川水系における流域治水の一環として、氾濫をできるだけ防ぐ、減らすため、河道掘削を実施します。

整備効果

河道掘削の実施により、阿賀川流域の治水安全度を向上させます。

令和3年度の事業内容

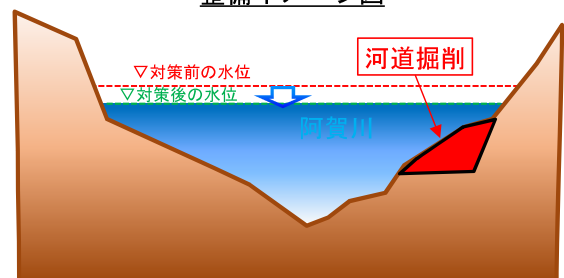
氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策として、ながい長井地区の河道掘削を推進します。



位置図



整備イメージ図



凡例

- 令和2年度まで
- 令和3年度実施

➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。

<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

たきさか
滝坂地区直轄地すべり対策事業の推進
ふくしま やま にしあいづまち
福島県耶麻郡西会津町

R3事業費
593百万円

事業の概要

滝坂地区地すべりは、福島県西会津町の新潟県境近くに存在し、面積約150ha、深さ（高さ）約140mの地すべり土塊を有する国内最大級の地すべりであり、平成8年に直轄事業が開始されるまでは、年間約100cmを超える活発な地すべり活動が発生していたこともあり、昨今の気象変動による影響で頻発化している集中豪雨により土砂災害が激甚化する危険性が高い地すべりです。

万が一、地すべり活動の活発化によって阿賀川本川に河道閉塞が形成されてしまうと、上流の西会津町や喜多方市では湛水による広域的な被害が発生し、また、下流の沿川一帯では河道閉塞の土塊が決壊し、一気に流下することで大規模な土砂災害が発生してしまう危険性があります。

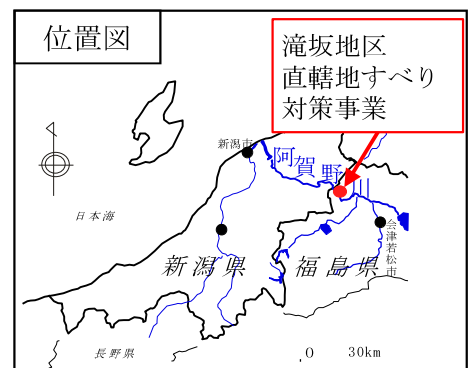
このため、ハード対策とソフト対策が一体となった治水対策である「流域治水」の一環として、滝坂地区直轄地すべり対策事業では、集水井や排水トンネル等の各種地すべり対策工事の計画的な実施により地すべり活動を沈静化させることで、地すべりに起因する大規模な土砂流出を抑制します。

整備効果

地すべり対策工の整備により、阿賀野川水系全体の土砂災害に対する治水安全度を向上させ、保全対象である福島県並びに新潟県内の沿川地域における安全と安心を確保します。

令和3年度の事業内容

豊洲地区において、地すべり対策工の整備を推進します。



凡 例	
黒色	令和元年度以前
黄色	令和2年度(当初)
紫色	令和2年度(補正)
赤色	令和3年度(当初)
緑色	令和4年度以降



➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。

<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

ふくしま かわぬま ゆがわむら あいづばんげまち
福島県河沼郡湯川村・会津坂下町（佐野目地区）

R3事業費
117百万円※1

※1:阿賀野川総合水系環境整備事業のR3全体事業費

事業の概要

会津盆地の中心に位置する佐野目地区では、地域防災力の向上や産業振興、地域住民の交流の場を創出することを目的として、かわまちづくり・河川防災ステーション・道の駅が一体で整備され、現在多くの利用者で賑わっているところです。

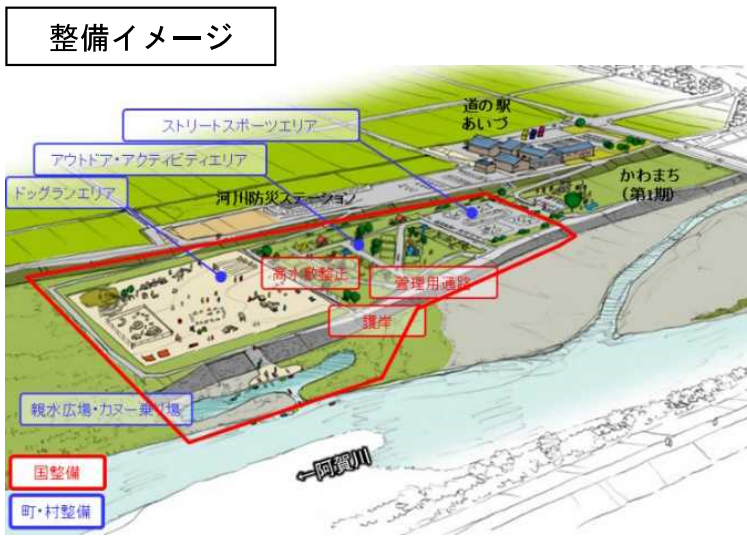
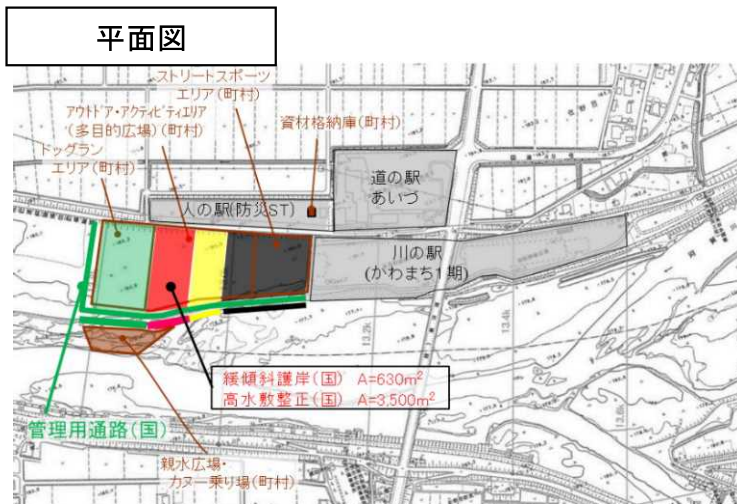
一方、利用者からは機能充実や拡張を望む声などがあがっており、さらなる地域振興・交流発展をめざし、現在は水辺整備の拡張（かわまちづくり第2期）を行っています。

整備効果

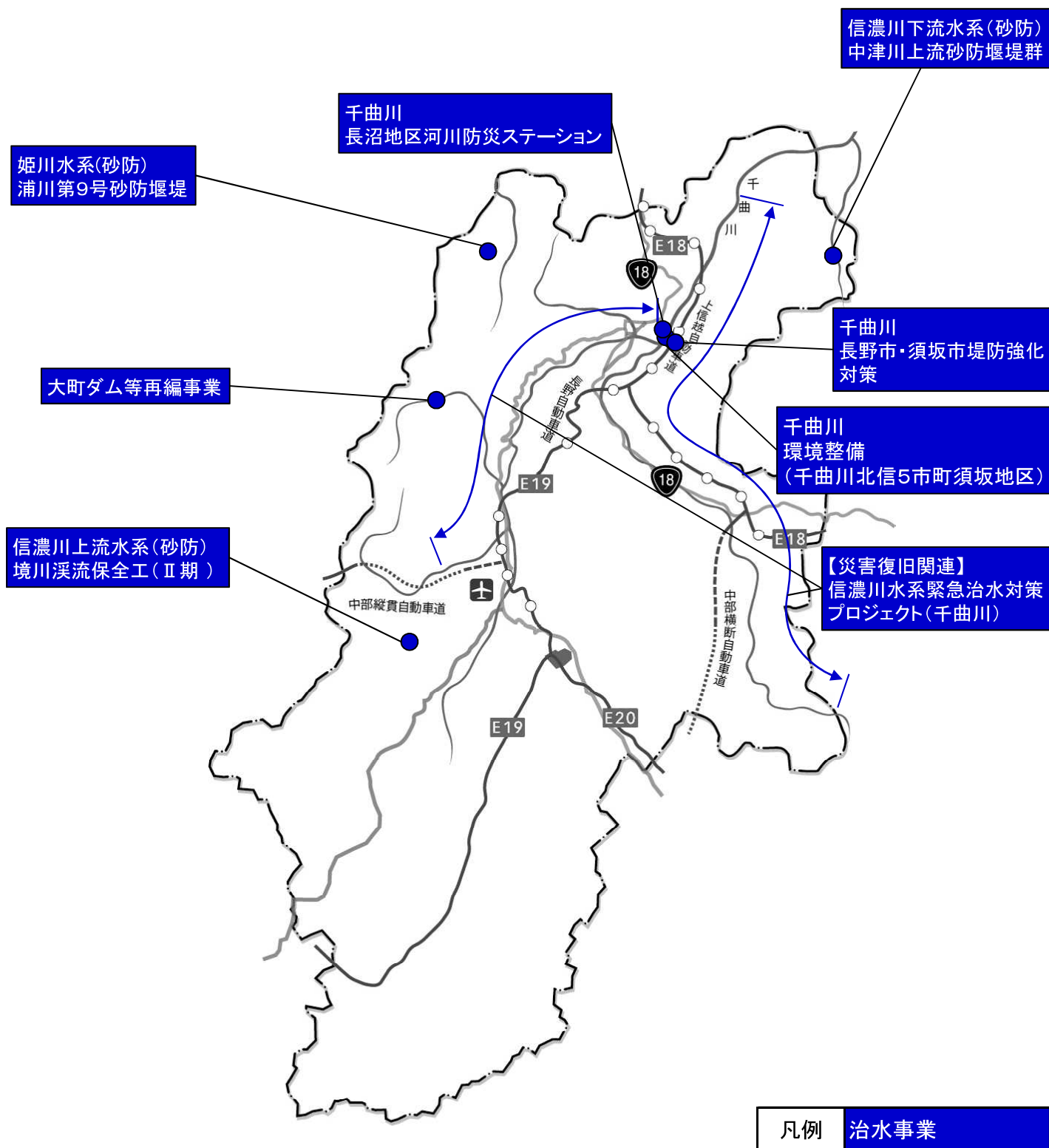
地域の意見要望等を反映し、子供からお年寄りまで幅広く遊べる・楽しめる拠点の整備を行うことで、水辺を利用した地域の賑わいを創出し地域振興・交流発展を図ります。

令和3年度の事業内容

拠点整備に向けて、親水護岸、高水敷整正等の整備を推進します。



長野県内の主要事業



※1:千曲川河川改修事業のR3全体事業費

事業の概要

千曲川では、令和元年東日本台風に伴う洪水により家屋等の浸水被害が発生しました。
長沼地区河川防災ステーションは、災害時の緊急復旧活動を行う上で必要なコンクリートブロックなどの緊急用資材の備蓄や、駐車場、ヘリポート等の整備を行うとともに、長野市が長沼支所、水防センターを設置するなど、災害時の活動拠点となる施設です。

近年、気候変動に伴い激甚化・頻発化する水害・土砂災害等に対する安全度の向上を図るため、これまでの河川管理者等による対策だけでなく、流域のあらゆる関係者の協働による、ハード・ソフト一体の治水対策である「流域治水」を推進します。信濃川水系における流域治水の一環として、被害の軽減、早期復旧・復興のための対策として、長野市と連携し、長沼地区河川防災ステーション整備に着手します。

整備効果

河川防災ステーションを整備し、迅速かつ円滑な復旧活動を行う体制の強化を図ります。

令和3年度の事業内容

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策として、長沼地区河川防災ステーション整備に伴う用地取得・埋蔵文化財調査等に着手します。



➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。

<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

しなのがわ 信濃川水系緊急治水対策プロジェクト(千曲川)※1の推進

ちくまがわ R2補正及びR3事業費 9,785百万円※2

ながの ながの 長野県長野市 他

※2:千曲川の河川等災害復旧事業費(R元年災)のR2補正及び河川等災害関連事業費(河川大規模)のR2補正及びR3全体事業費の合計

事業の概要

令和元年東日本台風では信濃川水系の千曲川上流域から信濃川中流域の広域にわたって甚大な被害が発生したことから、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」として、国、県、市町村が連携して河川整備によるハード対策と流域における対策や地域連携によるソフト対策を一体的かつ緊急的に推進します。

「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」の概要

○以下の3つを柱として取り組んでいきます。

- ①被害の軽減に向けた治水対策の推進(河川における対策)
- ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進(流域における対策)
- ③減災に向けた更なる取組の推進(まちづくり、ソフト施策)

関係機関が連携し、上記の3つの取組を実施し、概ね5年間で「再度災害防止・軽減」、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指します。

令和3年度の事業内容

信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの「河川における対策」の内、水位低減を図る河道掘削及び堤防強化等を推進します。

～ みんなでつなぐしなの川 ～

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト ～「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進～



※1:「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」

緊急治水対策プロジェクトの詳細は下記にてご覧いただけます。

http://www.hrr.mlit.go.jp/river/sinanogawakinkyutisuitaisaku/sinanogawakinkyutisuitaisaku_top.htm

ちくまがわ
千曲川

ながの すざか
長野市・須坂市堤防強化対策
ながの すざか
長野県長野市、須坂市

の推進

R3事業費
654百万円※1

※1：千曲川河川改修事業のR3全体事業費

事業の概要

千曲川左岸の長野市屋島地区及び右岸の須坂市福島地区の堤防は、高さや断面が不足しているとともに、浸透に対する安全度が低く、洪水により堤防が決壊した場合、甚大な被害が発生するおそれがあります。

近年、気候変動に伴い激甚化・頻発化する水害・土砂災害等に対する安全度の向上を図るため、これまでの河川管理者等による対策だけでなく、流域のあらゆる関係者の協働による、ハード・ソフト一体の治水対策である「流域治水」を推進します。信濃川水系における流域治水の一環として、氾濫をできるだけ防ぐ、減らすため、屋島地区・福島地区の堤防整備を実施します。

整備効果

堤防整備の実施により、千曲川流域の治水安全度を向上させます。

令和3年度の事業内容

氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策として、屋島地区及び福島地区の堤防整備を推進します。

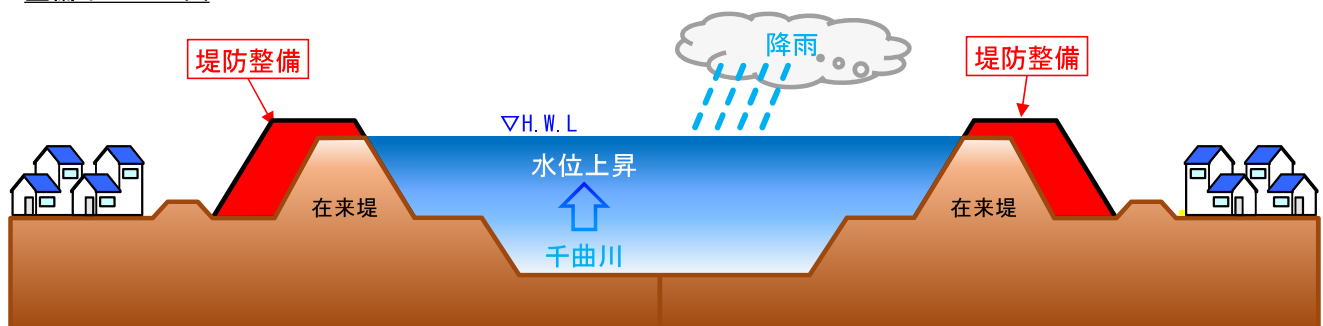
位置図



凡例

令和2年度まで
令和3年度実施

整備イメージ図



➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。

<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

おおまち
大町ダム等再編事業の推進
ながの おおまち
長野県大町市

R3事業費
389百万円

事業の概要

千曲川は令和元年10月台風19号豪雨水害で甚大な被害が発生するなど、これまで幾度も甚大な洪水被害が発生しています。

このため、高瀬川の既設ダムである高瀬ダム・七倉ダムの発電容量の一部と、大町ダムの水道容量の一部を洪水調節容量として新たに確保し、下流の洪水流量をさらに減少させること、さらに流入土砂対策を行うことにより長期的にダムの機能を確保することを目的とした大町ダム等再編事業を、令和2年度より進めています。

近年の気候変動に伴い激甚化・頻発化する水害・土砂災害等に対し、ハード対策とソフト対策が一体となった治水対策である「流域治水」の一環として、再編事業を実施します。

整備効果

洪水量を低減させ、下流域の治水安全度を向上させます

令和3年度の事業内容

土砂搬出施設及びダムコン詳細設計、用地測量 等を進め、事業の進捗を図ります。



高瀬ダム



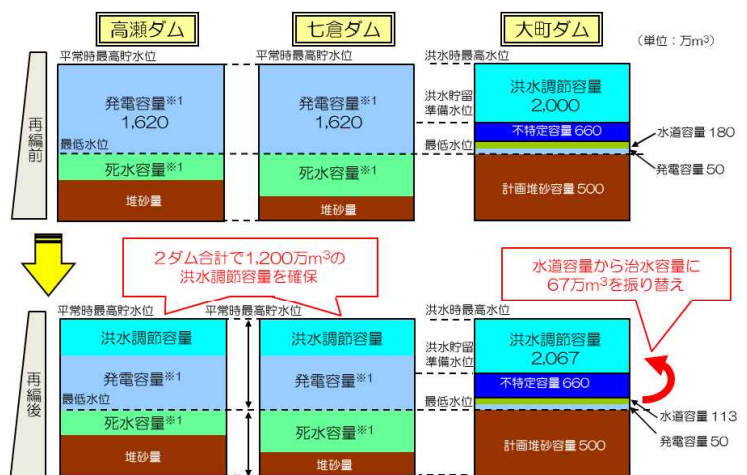
七倉ダム



大町ダム



大町ダム等再編事業 容量再編イメージ図



※1：将来の堆砂を許容 ※2：図の堆砂量は再編後のイメージ

➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。

<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

ちくまがわ
千曲川

環境整備 水辺整備の推進

ながの すざか すざか
長野県須坂市（須坂地区）

R3事業費
285百万円※1

※1: 信濃川総合水系環境整備事業のR3全体事業費

事業の概要

千曲川の下流部は、地域毎に四季折々の素晴らしい河川環境を有しており、千曲川は魅力的な地域資源となっており、各地域では、この千曲川を活かしたカヌーなどの水辺アクティビティイベントや堤防沿いでのマラソン大会が催されています。こうした中、各地域から広域な連携による更なる水辺空間の賑わいが求められています。

本事業は、千曲川北信地区の5市町が広域に連携した「かわまちづくり計画」が登録されたことを踏まえ、親水護岸や高水敷整正、アクセス道等の水辺整備を行います。

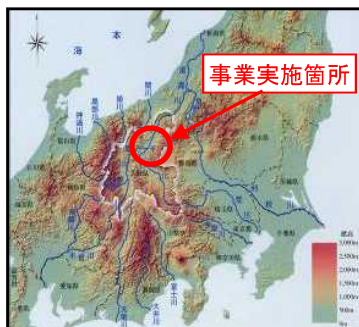
整備効果

千曲川を軸とした広域観光ルートの構築、地域の歴史・文化の伝承、未来へ繋げる関係人口の創出等により、水辺を活用した広域観光の推進と地域活性化を目指します。

令和3年度の事業内容

千曲川北信5市町の上流拠点となる須坂市で、水辺整備（親水護岸、高水敷整正等）を推進します。

・位置図



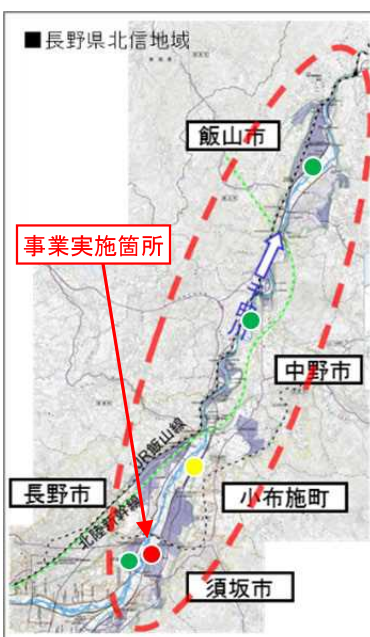
・水辺利用イメージ



・ラフティングイベント



■長野県北信地域



・全体整備イメージ



信濃川上流直轄火山砂防事業の推進

ながの まつもと さかいがわ
長野県松本市(境川溪流保全工(Ⅱ期))

R3事業費
107百万円

事業の概要

信濃川上流水系の梓川上流域は、荒廃が著しい溪流や崩壊した斜面が多数存在し、度重なる出水により流出した不安定な土砂が河床内に大量に堆積しているため、昨今の気象変動による影響で頻発化している集中豪雨により水害・土砂災害が激甚化する危険性が高い流域です。

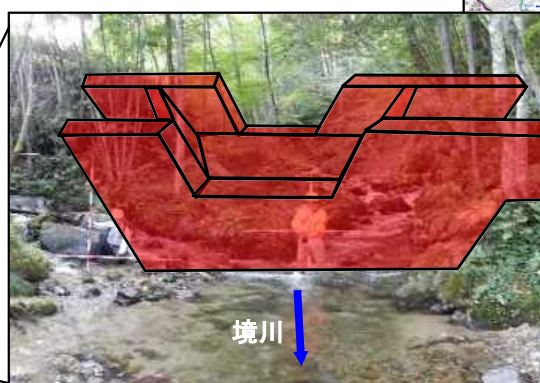
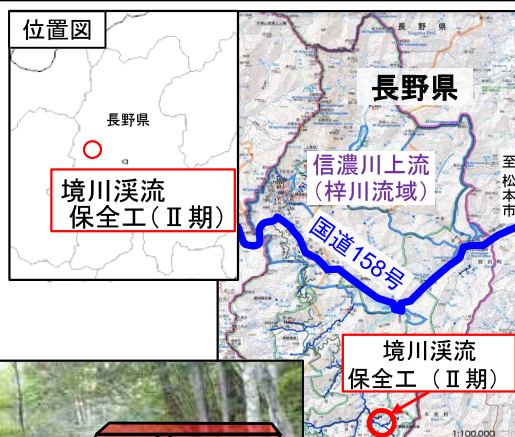
このため、ハード対策とソフト対策が一体となった治水対策である「流域治水」の一環として、境川溪流保全工(Ⅱ期)では、河床や溪岸を安定させる床固工や護岸工等と併せて砂防堰堤工の設置も取り入れた「一連・一体的な溪流保全工」を整備することで、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫を発生させる原因となり得る有害な土砂の再流出を抑制します。

整備効果

溪流保全工の整備により、信濃川上流水系全体の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象である松本市を始めとした下流の沿川地域における安全と安心を確保します。

令和3年度の事業内容

奈川寄合渡地区において、溪流保全工の整備を推進します。



境川8号床固工(整備中)

◆昭和58年奈川水害



昭和58年9月28日、台風10号による集中豪雨により、奈川本川、境川、栃洞沢などが氾濫し、寄合渡地区に土砂災害をもたらしました。

➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。

<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

しなのがわ
信濃川下流水系直轄火山砂防事業の推進
 ながの しもみ のち さかえむら なかつがわ
長野県下水内郡栄村（中津川上流砂防堰堤群）

R3事業費
 199百万円

事業の概要

信濃川下流水系の中津川上流域には、苗場山や鳥甲山からの火山噴出物による脆弱な崩壊斜面が多数存在し、絶えず繰り返される浸食崩壊によって河床内に不安定な土砂が大量に堆積しているため、昨今の気象変動による影響で頻発化している集中豪雨により水害・土砂災害が激甚化する危険性が高い流域です。

このため、ハード対策とソフト対策が一体となった治水対策である「流域治水」の一環として、中津川上流砂防堰堤群では、荒廃が著しく溪岸浸食が続く中津川本川の上流に、計2基からなる砂防堰堤群と溪流保全工（護岸工）を整備することで、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫を発生させる原因となり得る有害な土砂流出を抑制します。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、信濃川下流水系全体の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象である長野県栄村並びに新潟県内の沿川地域における安全と安心を確保します。

令和3年度の事業内容

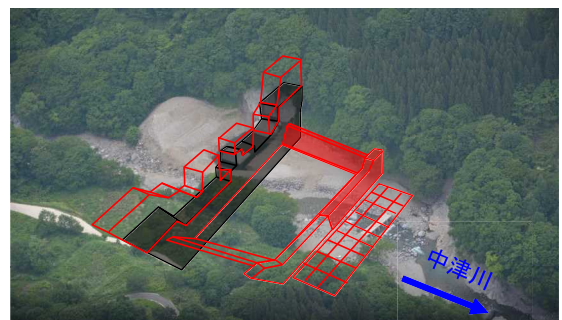
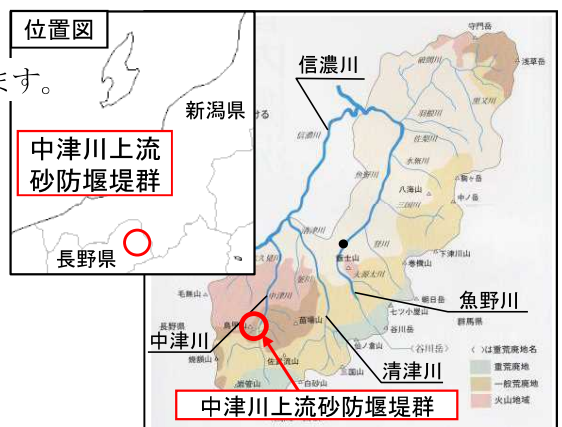
上野原地区等において、砂防堰堤工等の整備を推進します。



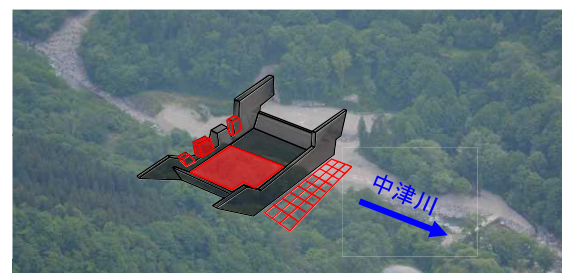
苗場山西斜面の大崩壊地



H25.9台風18号による出水の状況



中津川上流第2号砂防堰堤（整備中）



中津川上流第1号砂防堰堤（整備中）

➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

ひめかわ
姫川水系直轄火山砂防事業の推進
ながの きたあづみ おたりむら うらかわ
長野県北安曇郡小谷村(浦川第9号砂防堰堤)

R3事業費
241百万円

事業の概要

ひめかわ うらかわ ひえだやま
姫川水系の浦川上流域には日本三大崩れの一つと言われる稗田山の崩壊地が存在し、河床内には不安定な土砂や流木が大量に堆積・残存しているため、昨今の気象変動による影響で頻発化している集中豪雨により水害・土砂災害が激甚化する危険性が高い流域です。

このため、ハード対策とソフト対策が一体となった治水対策である「流域治水」の一環として、浦川第9号砂防堰堤では、浦川本川に新設の砂防堰堤を整備することで、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫を発生させる原因となり得る有害な土砂の流出を抑制します。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、ひめかわ
浦川第9号砂防堰堤では、浦川本川に新設の砂防堰堤を整備することで、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫を発生させる原因となり得る有害な土砂の流出を抑制します。

令和3年度の事業内容

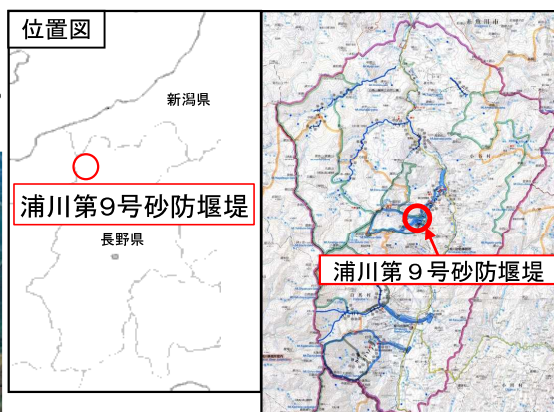
なか おたり
中小谷地区において、砂防堰堤工の整備を推進します。



上流の荒廃状況



上流の稗田山崩壊地



浦川第9号砂防堰堤(整備中)

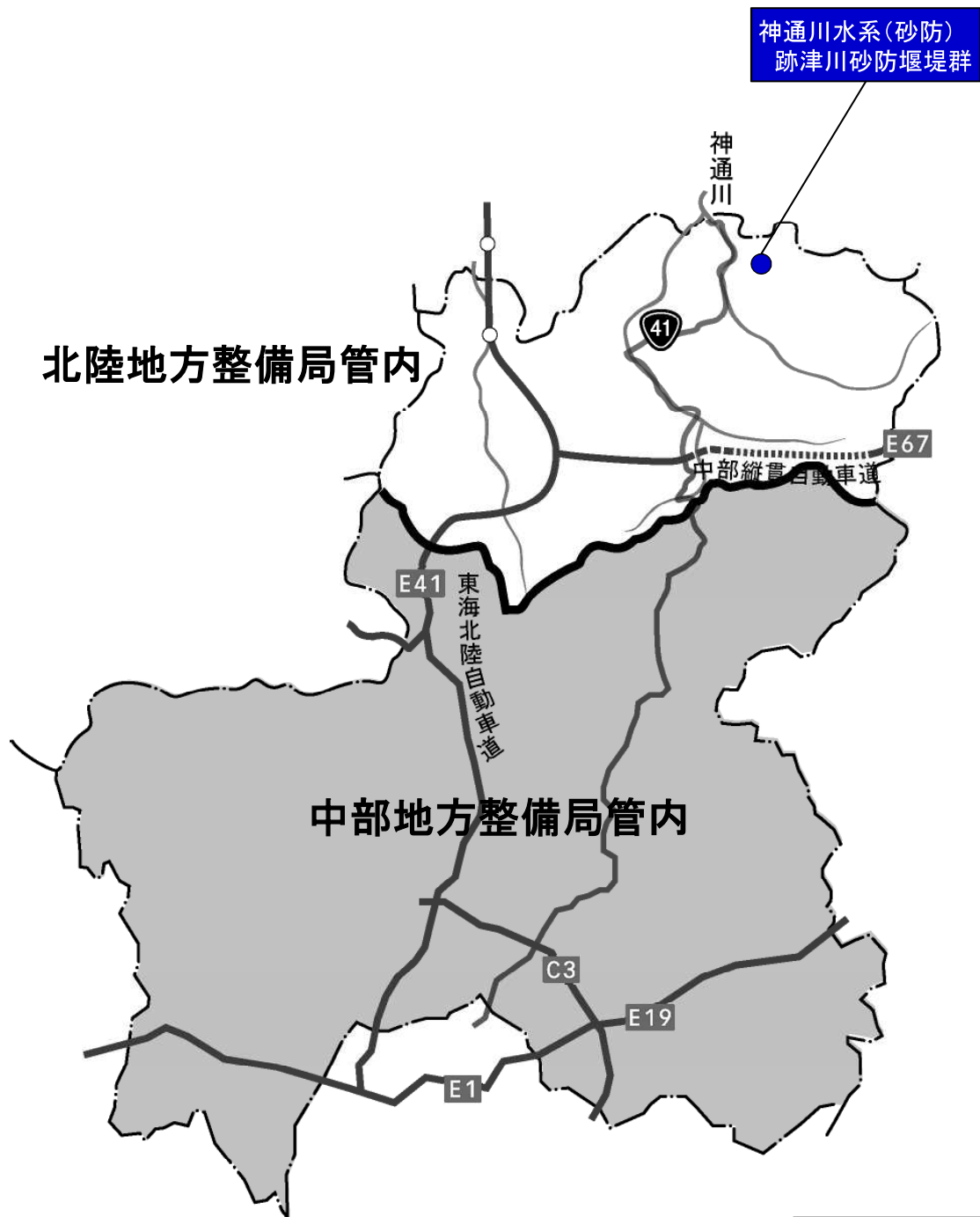


姫川本川・浦川合流点から見た浦川流域



➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikisui/top.html>

岐阜県内の主要事業



凡例 治水事業

じんづうがわ
神通川水系直轄砂防事業の推進
ぎふ ひだ えまひがしまち
岐阜県飛騨市(江馬東町砂防堰堤群)

R3事業費
183百万円

事業の概要

じんづうがわ たかはらがわ
神通川水系の高原川流域は、度重なる出水により流出した不安定な土砂が河床内に大量に堆積しているため、昨今の気象変動による影響で頻発化している集中豪雨により水害・土砂災害が激化する危険性が高い流域です。

このため、ハード対策とソフト対策が一体となった治水対策である「流域治水」の一環として、江馬東町砂防堰堤群では、計3基からなる新設の砂防堰堤群を整備することで、土石流となり得る不安定な土砂や土塊の流下を防止するとともに、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫を発生させる原因となり得る有害な土砂流出も抑制します。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、近傍の集落や道路等を土石流による直接的な被害から守るだけでなく、神通川水系全体の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象である岐阜県飛騨市並びに富山県内の沿川地域における安全と安心を確保します。

令和3年度の事業内容

かみおかちようひがしまち
神岡町東町地区において、砂防堰堤工の整備を推進します。



倒木が堆積する島田洞上流



島田洞砂防堰堤(整備中)

◆昭和54年洞谷災害



洞谷からの土石流が栃尾温泉街を直撃(旧_上宝村栃尾・昭和54年8月)

➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

福井県内の主要事業



つるが まりやまみなみ
敦賀港 鞠山南地区
国際物流ターミナル整備事業の推進
ふくい つるが
福井県敦賀市

R3事業費
350百万円

事業の概要

つるが ほつかいどう とまこまい ふくおか はかた
敦賀港は北海道苫小牧港や福岡県博多港と日本海側定期航路によって結ばれ、関西中京を背後圏とする物流拠点となっています。

まりやまきた まりやまみなみ
鞠山北地区の非効率な荷役の解消等に対応するため、鞠山南地区の国際物流ターミナルの整備を実施します。

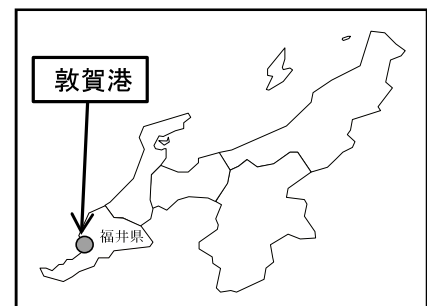
整備効果

貨物の取扱能力が向上し荷役効率化と輸送コストの縮減が図られます。

令和3年度の事業内容

岸壁の整備を推進します。

【位置図】



敦賀港

鞠山北地区

鞠山南地区

岸壁(水深14m)

つるが まりやまきた
敦賀港 鞠山北地区
防波堤改良事業の推進
ふくい つるが
福井県敦賀市

R3事業費
80百万円

事業の概要

敦賀港は北海道苫小牧港や福岡県博多港と日本海側定期航路によって結ばれ、関西中京を背後圏とする物流拠点となっています。

港内の航行船舶の安全性、利便性の確保、および防波堤の安定性を確保するため、防波堤の改良を推進しています。

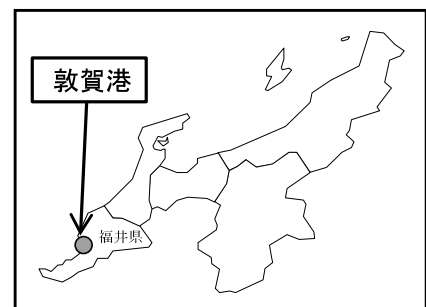
整備効果

防波堤及び護岸の改良により、港内の航行船舶の安全性、利便性が確保されます。

令和3年度の事業内容

防波堤及び護岸の改良を推進します。

【位置図】



その他の主要事業

河川管理施設等の機能維持

北陸地方整備局管内

事業の概要

河道が有する機能を維持するため、樹木伐採後の再繁茂抑制対策等を実施する他、老朽化等により機能が低下した河川管理施設の更新・補修等を実施します。

整備効果

再繁茂抑制対策や老朽化した河川管理施設の修繕等を実施することで、必要な機能を回復・維持します。

令和3年度の事業内容

河道の機能を効率的・効果的に維持していくために樹木伐採後の再繁茂抑制対策等を実施します。
また、河川管理施設の巡視、点検を行うとともに、老朽化等により機能が低下した監視システム、護岸等の更新・補修等を実施し、洪水時の安全性を確保します。

○河道の有する機能を維持するための再繁茂抑制対策



伐開後の状態を維持

○機能が低下した既存河川管理施設の更新・補修等を実施

護岸補修



破損したふとん籠



流出した玉石



ふとん籠工補修イメージ

老朽化した監視システムの更新



遠隔監視設備の更新



データ処理装置の更新

○河道、河川管理施設の点検・維持



点検による状態把握(堤防点検)



河道(河口部)の維持

○施設点検・巡視のための 堤防除草を実施



大型遠隔式除草機械による除草

道路の老朽化対策、防災・震災対策等の推進

北陸地方整備局管内

事業の概要

・道路の老朽化対策

橋梁・トンネル等の道路構造物について、適切に点検・修繕等を実施するメンテナンスサイクル（点検・診断・措置・記録）の推進に取り組みます。

・道路の防災・震災対策等

大規模災害時の救急救命活動や復旧支援活動を支えるため、緊急輸送道路の強化を推進します。

令和3年度の事業内容

道路の老朽化対策

<橋梁>



（点検）



（変位制限装置の欠損）

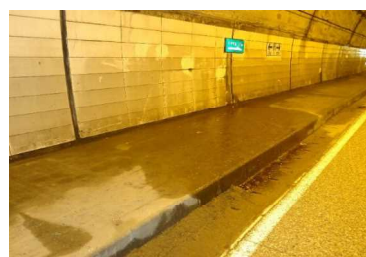


（対策イメージ：部材取替）

<トンネル>



（点検）



（覆工のひび割れ・漏水）



（対策イメージ：
断面修復・漏水対策）

道路の防災・震災対策等

<耐震補強>



（対策イメージ：落橋防止装置）

<防雪対策>



（対策イメージ：地吹雪防止柵）

道路利用者団体と連携した渋滞対策の推進

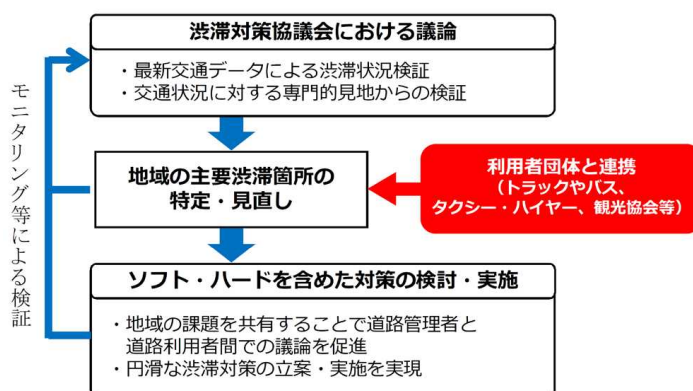
北陸地方整備局管内

事業の概要

各県単位で、道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会において、効果的な対策を検討・実施しています。

この渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体が連携を強化し、利用者の視点で渋滞箇所を特定した上で、速効対策を実施します。

【渋滞対策の流れ】



令和3年度の事業内容

位置図



国道8号

田中交差点（石川県 金沢市）



＜＜ランプ部の滞留長の延伸を推進＞＞

国道7号

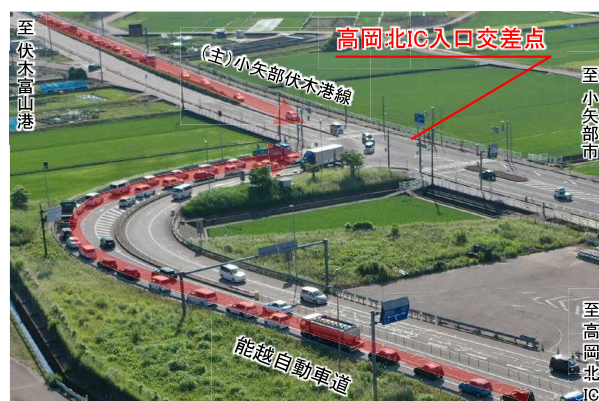
竹尾IC（新潟県 新潟市東区）



＜＜ランプ部の右折レーンの延伸等を推進＞＞

能越自動車道

高岡北IC入口交差点（富山県 高岡市）



＜＜右折レーンの延伸を推進＞＞

令和3年度の道路調査の見通しについて(ネットワーク)

国道17号の湯沢地区などの災害に対する脆弱区間については、防災機能の向上や幹線道路の機能強化等に係る調査を実施します。

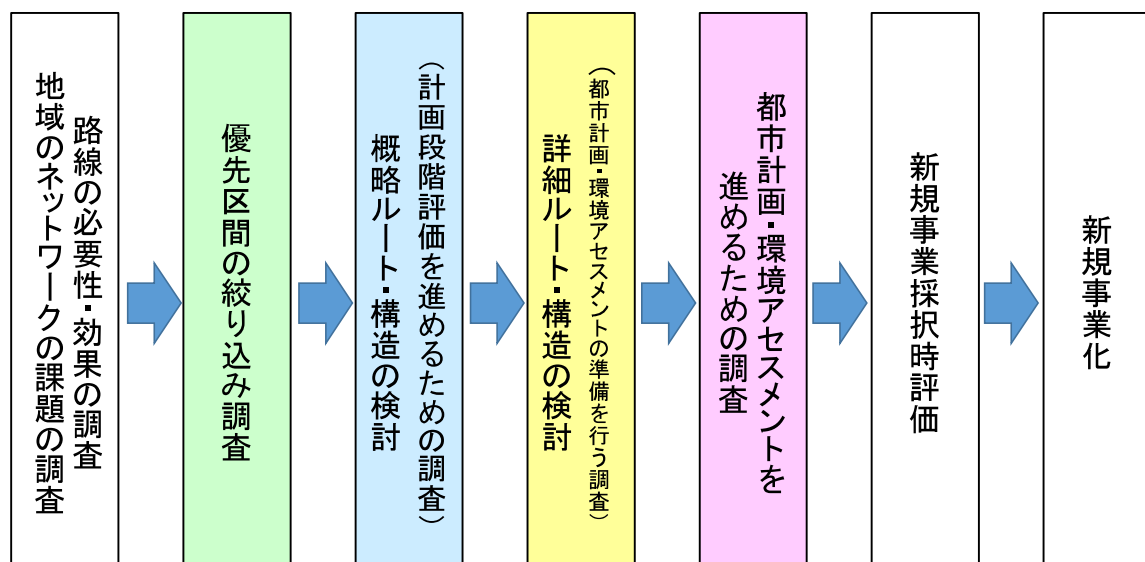
国道8号など三条地区の慢性的な渋滞対策については、交通円滑化や事故低減など、幹線道路の機能強化等に係る調査を関係機関と連携し実施します。

富山県西部地区及び石川県中能登地区について、国道160号の災害等に対する脆弱区間を踏まえ、規格の高い能越自動車道やのと里山海道、それを補完する道路の機能強化に向けた調査を石川県・富山県・地元自治体と連携し進めます。

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

＜道路調査の流れ＞



令和3年度の道路調査の見通しについて(交通拠点)

交通結節点事業について、一般国道7号 新潟駅交通ターミナル整備事業を推進します。

また、地域における道路交通に関する課題を把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、道路ネットワークにおける拠点の機能強化の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<交通拠点の調査の流れ>

